

福井県職員デジタル人材育成方針について

1 方針策定の目的

本県では、令和3年3月にDX推進の方針として「福井県DX推進プログラム」を策定しており、これまでも職員の意識改革や体制構築等を実施してきた。

今後、DXの取組をさらに全庁的に拡大させるため、DXの主体となる職員の育成についての方針を策定し、体系的に取り組んでいく。

福井県DX推進プログラム

目指すビジョン 福井県の将来を持続可能なものとするため、即効性が高い手段であるDXを早期に活用する。
行動規範 みずから変える（全庁を挙げて、DXありきで政策立案や業務の遂行・改善に取り組む。）

現状

- ・ 26所属80業務でローコードツール等を活用した業務改善（システム内製化等）が進行
- ・ 庁内DXコミュニティに1, 220名超の職員が参加し、職員同士の自発的な情報共有が拡大

全庁的な取り組みへ拡大

『福井県職員デジタル人材育成方針』（R5.2.1策定）

目的：DXの主体となる「デジタル人材」の育成を体系的に推進する。

内容：求める人材像やスキル等を設定し、その習得に向けた育成プログラムや進捗評価体制を整理する。

<整理を図る観点>

- ①求める人材像、
- ②スキルマップ、
- ③育成プログラム、
- ④評価体制

2 DX推進人材の定義

本方針では、DXを推進するために必要な役割（要件・スキル等）を職員の役職ごとに4区分で整理する。

役割区分	役職	必要な要件	スキルマップ
推進マネジメント層： 各所属のDX推進の責任者（意思決定権者）として、デジタル技術等を活用した事業推進の監理、DX推進目標の策定、体制構築および人材の適切な配置育成を行う。	管理職 ・課長級 ・参事級 等	・戦略 ・組織運営	i リーダーシップ ii 人材育成 iii 組織文化の変革 iv インシデント管理
プロジェクトリーダー層： デジタル技術等を活用した牽引役として事業推進を行う。	主任 以上 ・総括補佐級 ・課長補佐級	・プロジェクト運営 ・専門スキル	i プロジェクトマネジメント ii DX実践知識 (UI/UXデザイン、データ分析、クラウド、IoT、AI、ネットワーク、内製化、デジタルマーケティング等) iii DX推進ノウハウ
DXリーダー： 各所属のDX推進目標遂行に向けた支援を行う（そのための高度な知識・技術習得、伴走・実践を含む）。	一般職員 ・主査級 ・一般職員 等	・リテラシー ・知識	i DX基礎知識 (デジタル技術、データ利活用、デザイン思考) ii 業務改善 iii システム開発・運営 (アジャイル開発・IT調達等) iv EBPM
一般職員： 必要となるマインド、知識・リテラシーをもって、実務への参画・遂行を行う。		・マインド ・デジタル体験	i DX推進マインド ii 実務活用例 iii 情報セキュリティ・コンプライアンス iv ハンズオン型実践

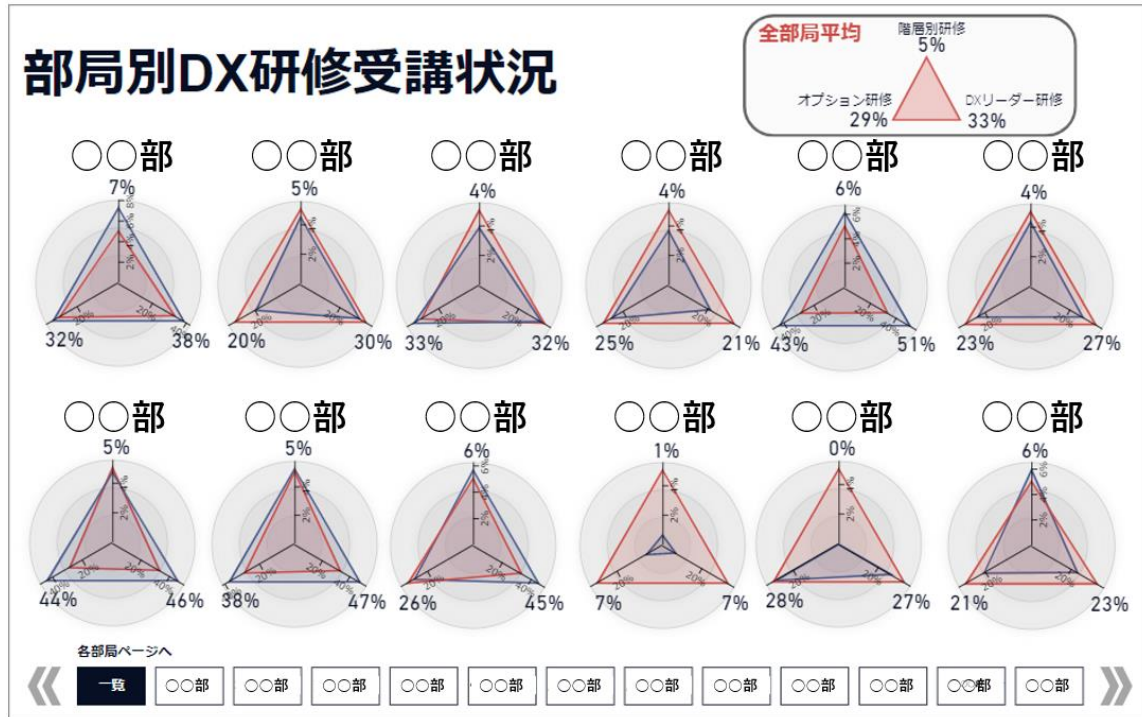
3 育成プログラム

役割区分ごとに求められるスキルに応じ、必須研修および選択研修を用意。体系的に研修を進める。

4 評価体制

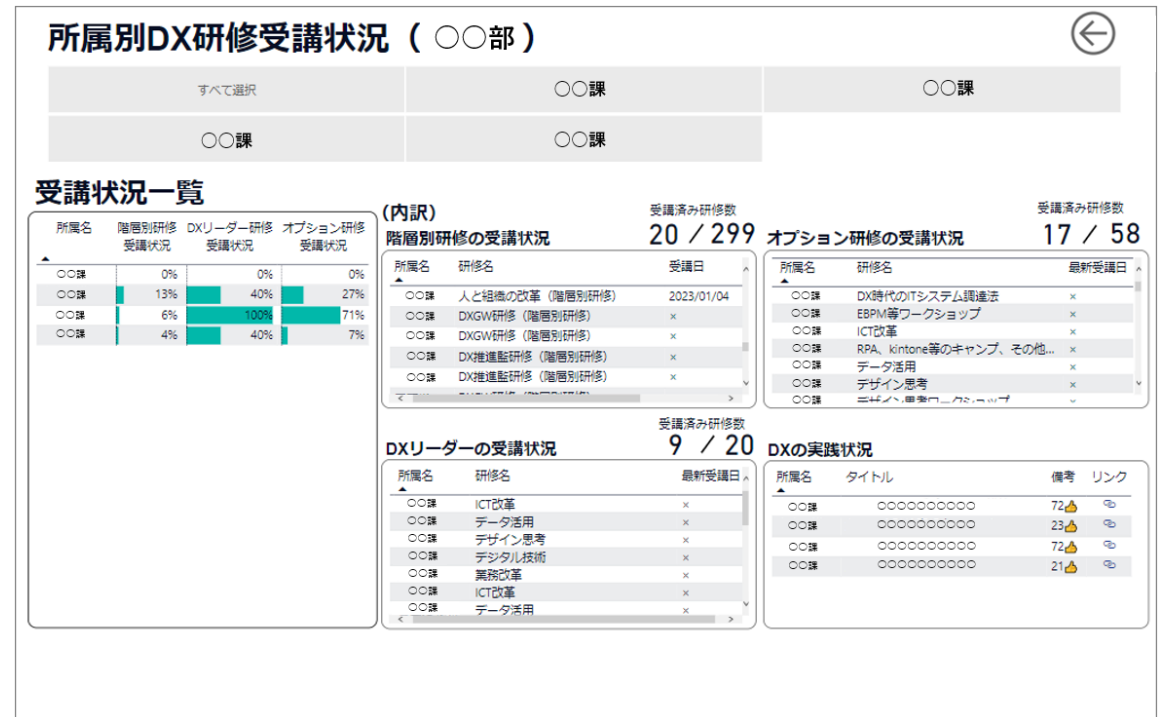
部局別・所属別の研修受講状況を、ダッシュボード形式により可視化する。

①部局単位で可視化



※画像はイメージです。

②所属単位での可視化



※画像はイメージです。